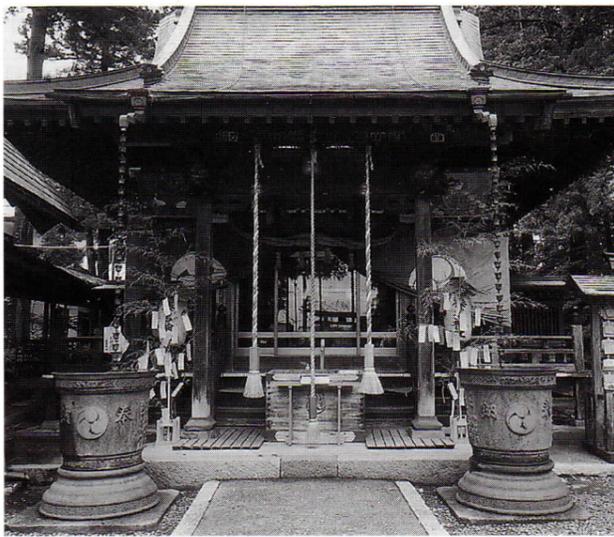


# 榛名神社社報

発行日 平成三十年七月十五日  
 発行所 沼田市榛名町二八五一  
 電話〇二七八(2)二六五五  
<http://harunanomori.org>  
 発行人 金子浩隆



## 榛名神社由緒記

### 御祭神

はにやまひめのみこと  
**埴山姫命** (生命守護・五穀豊穡の神)  
 やまとたけるのみこと  
**倭建命** (開運・土地守護の神)  
 すがわらのみちさねのみこと  
**菅原道真命** (学問守護・災難厄除の神)  
 たけみなかたのみこと  
**建御名方命** (産業守護・健康長寿の神)  
**摂社・末社**  
 おおくにぬしのみこと  
**大國主命** (商売繁盛・良縁結び・病氣平癒  
 ・交通安全の神)  
 琴平宮・熊野社・稲荷社・産泰社・五柱社  
 殿島社・加茂社 面美様  
 元縣社・利根沼田総鎮守  
 沼田氏・真田氏・本多氏・黒田氏・土岐氏と代々の  
 城主の崇敬を受け、その由縁の品々が今も保存され  
 ている。特に本殿は享祿二年(1529)沼田頼泰  
 の建立、元和元年(1615)真田信之により改築  
 され、豪華華麗な桃山文化を今に伝える。

## \*神道講話\*

### 奉祝 天皇陛下御即位三十年

#### ―御代替わり―

天皇はこの国の《象徴》です。神代の昔からの歴史や文化を現代まで伝えてきた日本という国の、文化の中心に今もなおいらつしやる天皇陛下。来年の四月三十日には天皇陛下の御即位、五月一日には皇太子殿下の御即位が決定しており、全国の神社では今上陛下への感謝の誠をささげつつ、御即位三十年を寿ぎ、各行事・祭典を行っております。そして、皇太子殿下の恙ない御即位を祈念して、御大典奉祝活動が始まっております。今上陛下におかせられましては、自然災害などの被災地を巡られ、人々をお見舞いださり、また、先の大戦で亡くなられた方々への慰霊の真心をつねに捧げられてこられました。常に国民にお心をお寄せになられた平成の御代三十年。わたくしたち国民も、陛下の尊いそのお心お姿に、心からの感謝をささげたいと思います。

### 皇室祭祀

皇室祭祀を執行されるのは天皇陛下ご自身です。毎年行われる恒例祭祀と臨時祭祀があります。祭祀は大祭と小祭に分かれますが、大祭は天皇陛下が自らお祀りされ、成年皇族方全員がご参列されます。小祭は、天皇陛下が拝礼され、掌典長に祀らせらるることとされています。掌典とは皇室祭祀に奉仕する人たちのことで、天皇陛下が私的に雇用されている職員です。

大祭は九つあり、一番重要な祭典が十一月二十三日の新嘗祭です。宮中三殿に隣接する神嘉殿で新穀を天照大御神はじめ神々にお供えになり、神恩を感謝され自らも召し上がる祭典です。小祭は祈年祭など八つあります。さらに、即位礼や大嘗祭(即位して初めて行われる特別の祭典)関連の諸儀もあります。その他、皇族のご結婚やご誕生、成年式、外国ご訪問ご帰国も、大事として三殿で祭祀が行われま

す。また、天皇陛下は自ら祭典にお出ましにならないご代拝のときも、慎みの時を過ごしていらつしやいます。

六月三十日には大祓が宮中で執行されましたが、このように天皇陛下をはじめ皇族方は、戦後は皇室の私的行事としてではありませんが、古来からの祭祀・伝統を継承し、日本国として国民の幸福、繁栄をお祈りくださっています。

### 御大礼

御大礼とは天皇の即位に関わる一連の儀式の総称です。即位された新天皇は、即位礼、大嘗祭、大饗、親謁などの多くの儀式を行われます。大嘗祭は新天皇が即位されて初めての祈年祭。

天皇一代に一度だけの最も大切なお祭り、新天皇がご自身で神々に神饌をお供えして、共に饗するという儀式です。新元号の秋、十一月十四日から十五日に斎行されると思われま

## 榛名神社神輿新調事業趣意書

榛名神社の本殿は、一五二九年沼田頼泰公により建てられ、一六一五年、昨年のNHK大河ドラマの真田丸紀行でも紹介された、真田信之公(奉献(大改築)の利根沼田の総鎮守です。夏の恒例大祭である祇園祭・沼田まつりには、榛名神社神輿が氏子町内渡御をします。現在の神輿は明治三十三年四月七日作成の由緒あるお神輿ですが、近年老朽化が進んでおり、神輿新調の機運が高まっております。一方、新天皇の御即位にあたり、全国の神社で御大典記念事業が行われる予定で、榛名神社では、この神輿新調事業を記念事業として考えております。(参考：平成の記念事業：大鳥居建設)



【明治33年4月作成の神輿】

平成三十年八月三・四・五日

## ◇祇園祭執行について◇

左記の通り、祇園祭についての日程等をご案内申し上げます。

### 一、日程

八月三日(金)	神饗奉遷・神輿発幸祭 午前七時二十分 渡御 大鳥居からは車↓ 薄根町↓清水町↓榛名町↓西倉内町 ↓東倉内町↓材木町↓西原新町↓ 東原新町	榛名神社
午後一時頃	上原町↓桜町↓高橋場町↓柳町	
午後三時	柳町祭典事務所着	
午後三時三十分	出発式 奉仕団により柳町を出発	
午後四時頃	縣社会の山車による奉迎・修祓	
午後六時	仮宮着御祭	仮宮
八月四日(土)		
午後五時	恒例大祭	仮宮
午後四時二十分	仮宮発御祭	仮宮
午後五時	還御(奉仕団による)	
午後八時	須賀神社神輿との競演 市役所前広場	
午後十時	宮入り・本殿還御祭	榛名神社
一、本年度仮宮	材木町神明宮南側駐車場	

つきましては榛名神社神輿奉賛會を中心に、参与総代またさらに多くの氏子・崇敬者の皆様方のご理解ご協力をいただき、御奉賛をお願いする次第でございます。尚、御奉賛いただきました方々のご芳名は、未永く保管させていただきますとともに、ご家門、貴社のご繁栄をお祈り申し上げます。神社の事業は一人でも多くの方々の協力により、初めて意味をなすものです。以上の趣意にご賛同いただき、絶大なるご理解とご協力を切にお願ひ申し上げます。

### 奉賛金について

- 一、一口(二千元)以上…ご芳名を芳名帳に記載し残す
- 二、五口(一万元)以上…ご芳名を掲示板にて残す(境内掲示)
- 三、二十五口(五万元)以上…ご芳名を神輿の中に入れることともに掲示板にて残す(境内掲示)
- 二、五十口(十万元)以上…ご芳名を神輿の中に入れることともに、額縁掲示板にて残す(拝殿掲示)

【2面に続く】

